

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

| | | |
|--|---|--|
| 事業名 一般国道181号 岸本 ^{きしもと} バイパス | 事業区分 一般国道 | 事業主体 鳥取県 |
| 起終点 自：鳥取県西伯郡 ^{さいほくぐん} 伯耆町 ^{ほくちよう} 吉定 ^{よしきだ} 至：鳥取県米子市 ^{よなごし} 諏訪 ^{すわ} | 延長 5.7 km | |
| 事業概要 一般国道181号は、岡山県津山市 ^{つやま} を起点とし、鳥取県米子市 ^{よなご} に至る延長約100kmの幹線道路である。岸本バイパスは交通混雑緩和及び交通安全の向上を目的とした延長5.7kmの2車線道路である。 | | |
| H10年度事業化 | H 年度都市計画決定 (H 年度変更) | H12年度用地着手 |
| H13年度工事着手 | | |
| 全体事業費 | | 93億円 事業進捗率 |
| | | 64% 供用済延長 |
| | | km |
| 計画交通量 | | |
| 8,100 台/日 | | |
| 費用対効果分析結果 | B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 5.1 | 総費用 (残事業)/(事業全体) 32/100億円 (事業費：25/92億円) (維持管理費：7.2/7.2億円) |
| | | 総便益 (残事業)/(事業全体) 164/164億円 (走行時間短縮便益：162/162億円) (走行費用減少便益：0.53/0.53億円) (交通事故減少便益：1.9/1.9億円) |
| 基準年 平成19年 | | |
| 感度分析の結果 | | |
| 事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（利便性向上が見込まれるバス路線が存在） ・国土、地域ネットワークの構築（日常活動圏の中心都市へのアクセス向上） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上） | | |
| 他4項目に該当 | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 地元自治体である伯耆町、米子市より、事業促進の意見が出されている。 | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成11年4月に開園した日本最大級のフラワーパーク、「とっとり花回廊」の完成によって年間40万人の観光客が訪れることから、当該事業の早期整備について一層強い要望が上がっている。 | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 平成10年度より事業着手し、事業進捗率64%、用地取得率97%。 | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 埋蔵文化財調査により長期間の事業化を余儀なくされているが、平成21年度には終点部2.2km区間の供用開始を図り、平成24年には全線の供用を予定している。 | | |
| 施設の構造や工法の変更等 発生土の現場内流用、新技術である開断面箱桁橋等の積極的な活用によるコスト縮減に取り組んでいる。 | | |
| 対応方針 | | |
| 事業継続 | | |
| 対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。 | | |
| 事業概要図 | | |
| | | |

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。